

目標2 だれもが安心して暮らせる社会づくり

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
配偶者等からの暴力の防止に向けた広報・意識啓発の充実	DV・デートDV防止のための広報・啓発活動	21	講演会、講座等の開催による啓発	人権男女共同参画課	学校出張「デートDV予防講座」の開催	交際相手からの心と体への暴力を「デートDV」といい、犯罪となる行為を含む深刻な人権侵害である。自分の身体を認識し、コントロールする能力を身につける大切な時期である思春期に、日々生命誕生の場にいる助産師に、デートDVの正しい認識と自分自身及び家族や周囲の命をかけたがえないものとしてとらえる考えの理解と予防について学んだ。講師：平野素尚さん（一般社団法人埼玉県助産師会 助産師）他 実施回数 6回（中学校6校）	未実施の学校への講座開催を呼びかける。
	女性に対する暴力から人権を守る活動の推進	22	講演会、講座等の開催による啓発	人権男女共同参画課	DV防止啓発講座「パートナーとの関係、対等ですか？」	パートナーから怒鳴られる・無視されるなどの行為を受け、その結果心身に症状が表れることも珍しくない。モラルハラスメントとは何かを知り自分の心と体をケアする方法を学んだ。講師：米田 千春さん（NPO法人レジリエンスこころの講座 ファシリテーター） 9月30日実施 参加者数9名	引き続きDV防止講座を企画・実施する。
	女性に対する暴力から人権を守る活動の推進	22	講演会、講座等の開催による啓発	人権男女共同参画課	「DV防止セミナー」～子ども虐待とDVへの統合した視点で考える～	子ども虐待死のケースでは、その背景の一つにDVがある。児童虐待とDVはそれぞれの視点から支援することが多いが、それを「家庭内暴力」として統合して支援するにはどうすればよいか、これからの支援のあり方について学んだ。講師：奥山 真紀子（社会福祉法人子どもの虐待防止センター理事・小児科専門医） 11月22日実施 参加者数55名	
児童虐待防止の推進	児童虐待防止に関する啓発活動の充実	23	広報、ホームページ、パンフレット等による啓発	子ども家庭総合支援センター	児童虐待防止啓発活動	1. 講演会 日時：11月22日（火） ①「DV防止セミナー～DVがもたらす子どもへの影響～」 講師 奥山 真紀子氏 対象 要保護児童対策地域協議会実務担当者他 参加者数 55名 2. 11月の児童虐待防止推進月間における普及啓発 ①学校、保育所、公民館、医療機関等啓発ポスター・チラシ等の設置 ②広報、ホームページ、市役所一階電子モニターに児童虐待防止啓発について掲載。	11月の児童虐待防止推進月間に講演会及びポスター・チラシ等の普及啓発を実施する。
		23	広報、ホームページ、パンフレット等による啓発	健康増進課	両親学級、妊婦教室での啓発	両親学級、妊婦教室で「乳幼児揺ゆさぶられ症候群」について、テキスト・DVDを用いて説明。	継続実施
		24	上尾市子ども支援ネットワークによる連携	子ども家庭総合支援センター	上尾市子ども支援ネットワークの開催	児童虐待防止などへの迅速な対応・支援を図るため、関係機関や市の関係部局で組織する「上尾市子ども支援ネットワーク」（上尾市要保護児童対策地域協議会）を開催し、各会議において情報共有・協議を行った。個別支援については、支援方法の検討及び担当者間の共通認識の確保等を行い、関係機関で連携を図り、迅速な対応を行うことができた。 ・代表者会議 1回 ・実務者会議 13回 ・個別支援会議 36回	代表者会議 1回 実務者会議 13回 個別支援会議 適宜 開催する。
	児童虐待の早期発見と支援体制の充実	25	健康診断・各乳幼児健診時における虐待の発見	保育課	健康診断時における虐待の発見	保育所での健康診断において虐待等が発見された場合は、速やかに市の児童虐待担当へ連絡を取り、適切な対応を図る。 令和4年度 0件。	保育所での健康診断において虐待等が発見された場合は、市の児童虐待担当へ連絡を取り、適切な対応を図る。
	25	健康診断・各乳幼児健診時における虐待の発見	健康増進課	周産期虐待予防強化事業	医療機関と地域保健機関等が連携して妊娠・出産・育児期に養育支援を必要とする家庭を積極的に把握し、訪問支援等を行うことにより育児不安の軽減や孤立防止を図り家庭の養育力の向上を目指すとともに児童虐待の予防に資することを目的とし、事業を実施した。 ・令和4年度報告件数 市内医療機関/91件、市外医療機関/133件	継続実施	
	26	女性のための相談、女性のための法律相談の実施	人権男女共同参画課	女性のための相談の実施	自分自身の性格や生き方、夫や家族との関係、夫や恋人からの暴力などさまざまな問題で悩んでいる女性のための相談を実施（予約制）。相談員：女性カウンセラー（NPO法人フェミニストカウンセリング東京） 相談日 毎週水曜日午前10時～正午・午後1時～4時 相談時間 1人50分間で1日5人の相談を実施 相談件数 141件	予約制の相談について、なるべく多くの市民が利用できるようキャンセルがあった場合には、速やかに他の希望者に連絡するよう徹底する。	

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
被害者への支援体制の充実	相談体制の充実	26	女性のための相談、女性のための法律相談の実施	人権男女共同参画課	女性のための法律相談の実施	離婚、夫や恋人からの暴力など法律の問題で悩んでいる女性のために、女性弁護士による法律相談を実施（予約制）。 相談日 毎月第3火曜日 午後1時～4時 相談時間 1人30分間で1日5人の相談を実施 相談件数 39件	予約制の相談について、なるべく多くの市民が利用できるようキャンセルがあった場合には、速やかに他の希望者に連絡するよう徹底する。
		26	女性のための相談、女性のための法律相談の実施	人権男女共同参画課	DV電話相談の実施	DVに関する相談等に、配偶者暴力相談支援センター女性相談員が応じた。 相談日 毎週月～金曜日午前10時～正午・午後1時～4時 相談件数 325件	
		27	配偶者暴力相談支援センターの機能充実	人権男女共同参画課	女性相談案内カードの作成	センターで作成した女性相談事業を案内する名刺サイズのカードを作成した。女性が手に取りやすいよう市役所本庁舎の女性トイレ内に設置した。 2,000部作成	目標2,000部作成 商業施設等への設置協力を検討する。
		27	配偶者暴力相談支援センターの機能充実	人権男女共同参画課	配偶者暴力被害者保護に関する証明書の交付	配偶者からの暴力を受けた人の保護に関する証明書を交付した。 申請 8件 交付数 13枚	申請を受けたものについては、速やかに発行する。または、DV相談にて、証明書が必要と思われる相談者には制度を案内する。
自立に向けての支援の充実		28	生活保護等の経済的支援	生活支援課	生活支援	DV被害者が加害者から避難することにより、経済的に困窮し加害者以外の扶養義務者からの援助も困難である場合、生活保護制度による自立支援を行った。 令和4年度実績 2件 ※他市町村で保護され一時保護施設を経て上尾市が受け入れた事例は 0件 ※上尾市で保護し一時保護施設を経て他市町村に移管した事例は 0件	DV被害者が加害者から避難することにより、経済的に困窮し加害者以外の扶養義務者からの援助も困難である場合、生活保護制度による自立支援を行う。
		29	個人情報保護の徹底	市民課	住民基本台帳の一部の写しの交付制限による支援	「上尾市ストーカー行為等の被害者等に係る住民基本台帳の一部の写し等の交付の制限に関する条例」に基づき、ストーカー被害者、DV被害者、児童虐待被害者、その他生命や身体に危害を及ぼす暴力等を受けるおそれのある人から住民票や戸籍の附票の写しの交付を拒む求めがあった時は、当該交付の請求及び申出を拒む手続きをとり、DV被害者への支援を行った。 申請件数277件（564人）うちDV 119件（277人）	引き続き、申出があったDV被害者への支援を行う。
		30	国民健康保険等への加入の支援	保険年金課	国民健康保険加入支援	課内の連携を取り、DVからの避難のため住所地と異なる場所に居住している被害者に、居住地による国民健康保険加入の支援を行った。 市外に住民票あり/R4年度新規加入8名（3世帯） 配偶者暴力相談支援センター等公的機関のDV保護証明書、本人確認書類、住民票、アパート契約書、資格喪失証明書・生保廃止連絡票等の書類を受領した上、現地調査による居住確認後保険証を交付。 相談を受けてから保険証交付に至るまで、関係各課と連携し情報を共有することにより、なるべく短期間・最少来庁回数による手続きを行い、DV被害者の負担軽減に努めた。	課内の連携を図り迅速な対応が取れるように、DVからの避難のため住所地と異なる場所に居住している被害者に、居住地による国民健康保険加入の支援を行う。 相談を受けてから保険証交付に至るまで、関係各課と連携し情報を共有することにより、なるべく短期間・最少来庁回数による手続きを行い、DV被害者の負担軽減に努める。
		31	児童、生徒に対する就学援助	学務課	就学支援	DVから避難するため、上尾市へ住民登録を行わず居住する被害者の小・中学生の子どもの転入学については、緊急措置として市内小・中学校への就学ができるよう就学願を受理し、就学を許可した。この際、転入先の市内小・中学校や、転出元の教育委員会と連携を図った。 また、学校生活に関し特に不安がある場合には、DV被害者からの相談により、子どもたちの状況に応じた配慮ができるよう転入する学校に依頼を行った。 さらに経済的に困窮しているとの相談を受けた場合には、就学に必要な費用の一部を援助する就学援助制度について案内し、認定者へ学用品費・給食費等の必要な援助を行った。 ・DVに起因する就学願の届け出により就学を許可した人数 2人	DVから避難するため、上尾市へ住民登録を行わず居住を行う小・中学校の子どもについては、緊急措置を取り、就学の許可を行うこと、また、就学援助制度について該当者に向けた周知を行う。
被害者への支援体制の充実		32	保育所への入所支援	保育課	保育所への入所支援	DV被害者の子どもの保育所入所申請があった場合、住民登録をしていなくても受け入れるなどの支援を行うことについて担当内で確認した。 令和4年度の実績は 1件。	DV被害者の子どもの保育所入所申請があった場合、支援を行うことについて担当内で確認する。
		33	必要な母子保健サービスの提供	健康増進課	母子保健サービスの支援	住民票のないDV被害者の子どもに対しても各種母子保健制度が利用できるような体制に努めている。	継続実施

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
関係機関との連携の推進		34	心のケアを支援	健康増進課	心のケアを支援	住民票のないDV被害者の子どもに対しても心のケアを支援ができるような体制に努めている。	継続実施
		34	心のケアを支援	人権男女共同参画課	心理教育プログラム「びーらぶ」	DV被害者へ県実施の「びーらぶ」の紹介を行った。 ※「びーらぶ」はDV被害を受けた女性とその子供が同時に学ぶことのできるプログラム	今年度も開催決定。引き続き、案内・紹介を行う。
		35	上尾市DV対策庁内連絡会議による連携	人権男女共同参画課	DV対策庁内連絡会議の開催	「上尾市DV対策庁内連絡会議」 庁内における横断的な取り組みの中でDV被害者に対する支援を図るため、この連絡会議の中でDVに関する研修を実施した。13課で組織（市民税課、納税課、学務課、子ども支援課、保育課、子ども・若者相談センター、生活支援課、高齢介護課、障害福祉課、健康増進課、市民課、保険年金課、市民協働推進課） ・第1回会議（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面での開催）（上尾市DV被害者支援マニュアル他） 8月3日 ・第2回会議（情報共有）12月12日	会議を開催し、各課の連携を強化する。
		37	一時保護施設等への入所支援	人権男女共同参画課	緊急一時保護のための宿泊施設設備上げ支援制度の実施	DV被害者とその家族に対し、緊急一時保護のための宿泊施設設備上げ支援制度を実施している。 令和4年度 1件	相談者の身の安全を守るため、ひとりひとりの状況から適切な避難先を検討、支援する。
		37	一時保護施設等への入所支援	人権男女共同参画課	一時保護施設等への入所支援	DV被害者の相談に応じるとともに、関係機関との連携を図り、一時保護施設等への入所支援を行った。 ・一時保護施設への入所支援 1件 ・民間ステップハウスへの入所支援 0件	
37	一時保護施設等への入所支援	子ども家庭総合支援センター	母子生活支援施設への入所支援	地域生活に困難を抱える母子世帯に対し、入所支援を行った。 母子生活支援施設への入所支援 0世帯			
38	DV被害者の支援を担当する職員や地域関係者等を対象とした研修の実施	人権男女共同参画課	「DV防止セミナー」～子ども虐待とDVへの統合した視点で考える～ 子ども家庭総合支援センター共催講座	夫婦間で起こるDVを子どもが目撃することで、子どもの発達に悪い影響があると言われている。女性や子どものトラウマ治療の第一線で活躍している講師に、DVがもたらす子どもへの影響について学んだ。 講師：白川美也子さん(精神科医・臨床心理士) 11月19日実施 職員参加者数 20名	継続実施		
性の尊重や心身の健康支援の推進	被害者支援に向けた研修の実施	39	相談体制の充実	人権男女共同参画課	「男性のための電話相談」「にじいろ県民相談」（埼玉県LGBTQ県民相談）を案内	埼玉県が行っている男性相談、LGBTQ相談を希望があれば紹介している。	継続実施
		40	性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブヘルス/ライツ）の広報・啓発	人権男女共同参画課	男女共同参画リーフレットの作成	男女共同参画リーフレットの作成 リプロダクティブヘルス/ライツについて、記載。中学校等への出張講座の際に配布した。 作成数 3,500部	より理解が深まるようリーフレットの内容を見直す。
		41	HIV/エイズなどの性感染症に対する正しい知識の啓発・健康教育の促進	指導課	教員の指導力の向上	各学校の体育科・保健体育科の年間指導計画への位置付けを確認し、着実な指導が行われるように指導した。 学校訪問や体育実技伝達講習会等の研修会において、性に関する指導の充実を図るための具体的な指導方法について指導した。	男女平等教育主任、体育主任等との連携を図り、着実な指導が行われるように指導する。
		41	HIV/エイズなどの性感染症に対する正しい知識の啓発・健康教育の促進	健康増進課	性感染症に対する正しい知識の啓発	実施していない。相談窓口として、保健所を紹介している。	対応を継続
		42	不妊・不育治療等の経済的支援の推進	健康増進課	不妊治療費・不妊検査費・不育症検査費助成事業	令和4年4月1日より特定不妊治療に対し保険診療が適用され、令和4年度は年度をまたいで受けた治療費を助成。 不妊治療費助成事業 助成件数 126件 男性不妊治療費助成事業 助成件数 2件 夫婦がともに受けた不妊検査・不育症検査で、対象となる検査費について助成。 不妊検査費助成事業 助成件数 69件 不育症検査費助成事業 助成件数 20件	不妊検査費・不育症検査費助成事業を継続実施

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
母子保健事業の推進	母子の健康支援の推進	43	母子健康手帳交付時期等における面接・相談の実施	健康増進課	母子健康手帳の交付	東保健センター及び子ども家庭総合支援センターの助産師の資格を持つ母子保健コーディネーターが母子健康手帳交付時に全妊婦に対し、妊娠・出産・育児に関する相談を行っている。 R4年度 交付件数 1,492	継続実施
		44	妊婦教室の開催	健康増進課	妊婦教室（プレママ教室1日目）・両親学級（プレママ教室2日目・パパママ教室）の実施	パパママ教室（両親学級）1日コース（土曜日開催）とプレママ教室（妊婦教室）2日コース（ただし、2日目は両親で参加）（2日とも平日開催） 講師は、1日コースは保健師、2日コースは歯科医師、保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士で実施した。 実施回数 1日コース年8回、2日コース年6回 参加者 1日コース延べ376人、2日コース延べ336人	継続実施
		45	妊産婦の健康支援の充実	健康増進課	妊婦健康診査費用の助成事業	妊産婦を提出した妊婦に対し、母子健康手帳と併せて妊婦健康診査助成券を交付した。 ・一般健康診査 17,223件 ・子宮頸がん検診 1,366件 ・HIV抗体検査 1,444件 ・超音波検査 延べ5,201件	継続実施
		46	妊産婦・新生児訪問の実施	健康増進課	妊産婦・新生児訪問事業の実施	妊娠中の人や出産後3か月くらいまでの母親と乳児がいる家庭に助産師や保健師が訪問し、妊娠中の生活や出産、育児についての相談や指導を行った。 就学前の乳幼児がいる家庭に対し、保健師が訪問し、育児、発達、育児等についての相談・支援を行った。 ・妊産婦訪問指導 妊婦/延べ21人 産婦/延べ1,183人 ・新生児訪問指導 新生児/延べ280人 ・未熟児訪問指導 未熟児/延べ72人 ・乳幼児訪問指導（新生児、未熟児を除く） ・乳児/延べ1,154人 幼児/延べ206人	継続実施
男女が共に人生を健康で過ごせる事業の推進	健康講座・相談の実施	47	健康講座・相談の実施	健康増進課	健康講座 健康相談	【出前講座】 ・母子保健 7回 参加者 延べ80人 ・健康教育（成人・精神）8回 参加者 延べ172人 【調理実習】 ・ランチ調理実習 4回 参加者 延べ43人 【運動教室】 ・からだ改善！キネ軽運動教室等 19回 参加者 延べ114人 【栄養教室】 ・学ぼう！脂肪を貯めにくくする食事 10回 参加者 延べ23人 【埼玉県健康マイレージ事業】 ・ウォーキング教室 1回 延べ24人 ・親子ヨガ 2回 延べ18人 ・体力測定 2回 延べ25人 【食生活改善推進員育成】 ・食生活改善推進員育成講座 4回1コース 参加者 延べ48人【こころの健康相談】 ・精神科医師、保健師による面接相談 10回 相談者 延べ24人 【こころの悩み相談】 ・臨床心理士、保健師による面接相談 30回 相談者 延べ58人 【いのちのオンライン相談窓口】 ・Web相談窓口 相談者 延べ44人 相談数延べ183回 ・LINE相談窓口 相談数 延べ749回 トーク数延べ3,636トーク 【精神保健相談】 ・保健師による面接・訪問・電話による相談者 実136人 延べ650人 【ことばとこころの相談の実施】 ・言語聴覚士、心理相談員による相談 27回 相談者 延べ443人	継続実施 出前講座 随時 調理実習 4回 運動教室 18回 栄養教室 8回 埼玉県健康マイレージ事業、関連の運動講座 6回 食生活改善推進員育成講座 4回1コース継続実施 こころの健康相談 10回 こころの悩み相談 30回 いのちのオンライン相談窓口 Web相談窓口/随時、LINE相談窓口/日中週1回2時間、夜間月1回1時間
		48	各種検（健）診による健康管理	健康増進課	各種検（健）診	がんや生活習慣病を予防する対策の一環として、各種検（健）診を実施。20歳以上の女性および40歳以上の検診対象者には、勧奨通知を送付し、受診を促した。 ・ヘルスチェック（20～39歳の人） 受診者 373人 ・成人歯科健診（40歳以上の人） 受診者 809人 ・胃がん検診（40歳以上の人） 受診者 3,718人 ・肺がん・結核検診（40歳以上の人） 受診者 16,296人 ・乳がん検診（40歳以上の女性） 受診者 3,517人 ・骨粗しょう症検診（40,45,50,55,60,63,65,68,70歳の女性） 受診者 1,295人 ・子宮がん検診（20歳以上の女性） 受診者 4,100人 ・大腸がん検診（40歳以上の人） 受診者 19,551人 ・前立腺がん検診（50歳以上の男性） 受診者 9,073人 ・肝炎ウイルス検診（40歳以上の人） 受診者 1,750人	継続実施、胃がん（内視鏡）検診を新たに開始 受診期間 集団検診5月～12月、個別検（健）診5月～11月、胃がん（内視鏡）検診7月～R6年1月
		49	第2次上尾市健康増進計画・食育推進計画による健康づくりの推進	健康増進課	健康づくり推進事業	第2次上尾市健康増進計画・食育推進計画（令和2～6年度）を推進中である。健康づくりや食育推進の主体である市民一人ひとりが積極的に取り組むことができるよう、庁内の関係各所属や外部関係機関と連携し、計画に基づく施策を推進するとともに、市民が取り組みやすい環境の整備を図っている。	継続実施
ライフステージに応じた男女の健康	スポーツ・レクリエーション事業の充実	スポーツ振興課	スポーツ・レクリエーション事業	市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、心身ともに健康で充実した生涯スポーツ社会を実現するため、関係機関や地域、市民との連携・協働により、年代に合わせた教室の実施や取り組みの充実を図る。	市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、心身ともに健康で充実した生涯スポーツ社会を実現するため、関係機関や地域、市民との連携・協働により、年代に合わせた教室の実施や取り組みの充実を図る。		

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
健康支援の推進	スポーツ等を通じた健康づくりの推進	50	スポーツ・レクリエーション事業の充実	スポーツ振興課	スポーツ大会	<ul style="list-style-type: none"> ・上尾市スポーツ健康都市宣言記念 健康スポーツ体験会 期日 令和4年8月27日(土) 参加者延べ2,000人 ・上尾市スポーツ健康都市宣言記念 第64回上尾市民体育祭 期日 令和4年10月9日(日) 参加者延べ5,000人 ・第35回2022上尾シティハーフマラソン 期日 令和4年11月20日(日) 完走者数5,685人 ・第41回上尾市民駅伝競走大会 期日 令和5年2月12日(日) 参加者362人 73チーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康スポーツ体験会 ・第65回上尾市民体育祭 ・第36回2023上尾シティハーフマラソン ・第42回上尾市民駅伝競走大会
		50	スポーツ・レクリエーション事業の充実	スポーツ振興課	スポーツ教室・講座・研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ講座 期日 令和4年6月18日(土)・25日(土) 参加者延べ20人 ランニング講座、マットス講座 ・夏休みスケート教室 期日 令和4年8月1日(月)・2日(火) 参加者171人 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ講座 ・夏休みスケート教室 ・本気のラジオ体操、健康づくり講座 ・ユニバーサルスポーツ体験会
		50	スポーツ・レクリエーション事業の充実	スポーツ振興課	関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・健康スポレクひろば(スポーツ推進委員連絡協議会主催) 期日 令和4年5月～11月(市民体育館全6回)参加者139人 令和4年9月～1月(上平公民館 全6回)参加者68人 ・いきいき推進事業(上尾市スポーツ協会主催) 期日 通年68回 参加者1,249人 ・ミニバレー大会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) 期日 令和4年12月11日(日) 参加者延べ168人 31チーム ・小学生ドッジボール大会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) 期日 令和4年6月19日(日) 参加者105人 7チーム ・上尾市レクリエーション大会兼バスボール5体験会(上尾市スポーツ協会主催) 期日 令和5年3月4日(土) 参加者242人 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康スポレクひろば(スポーツ推進委員連絡協議会主催) ・いきいき推進事業(上尾市スポーツ協会主催) ・ミニバレー大会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) ・小学生ドッジボール大会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) ・上尾市スポーツ協会創立65周年記念事業(上尾市スポーツ協会主催)
		51	スポーツ等指導者の育成	スポーツ振興課	研修等	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボール審判講習会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) 期日 令和4年4月17日(日) 参加者29人 令和4年5月22日(日) 参加者38人 令和4年6月5日(日) 参加者38人 ・ミニバレー審判講習会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) 期日 令和4年10月30日(日) 参加者31人 令和4年11月27日(日) 参加者32人 令和4年12月3日(土) 参加者27人 ・健康スポーツ体験会講習会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) 期日 令和4年8月18日(木) 参加者19人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボール審判講習会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) ・ミニバレー審判講習会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) ・スポーツ推進委員研修会
ひとり親家庭等の経済的立と就労支援	ひとり親家庭等の経済的立と就労支援	52	ひとり親家庭自立支援給付金事業の周知	子ども支援課	ひとり親家庭への就労支援等の情報提供	高等職業訓練促進給付金の支給対象者数は25名。自立支援教育訓練給付金の支給対象者数は8名。相談数・申請数は年々増加し、制度への関心が高まっている。ひとり親の支援制度を案内する冊子の中に専用のチラシを作成し、離婚を考えている方や実際に離婚された方等に配布した。その他にも広報を活用したり、ホームページをリニューアルして必要な情報を探しやすいと改善してひとり親支援制度の周知を徹底した。	引き続き、支援が必要な家庭に制度の案内が行き届くように周知を図る。
		53	シングルマザーへの就労支援	子ども支援課	ひとり親家庭への就労支援等の情報提供	ハローワークと合同で8・9月に就労相談会を開催。児童扶養手当の年度更新手続き時には対象者へ相談会のチラシを送付した上で、広報でも周知を行った。また、埼玉県「母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付制度」についても同時に周知を行った。	引き続き、就労に結びつく情報の提供や福祉資金貸付制度の周知を図る。
		54	いきいきクラブへの活動の支援	高齢介護課	いきいきクラブ運営費補助金の交付	地域でのスポーツやレクリエーション活動等を行う単位クラブに補助金の交付、市連合会主催の芸能大会や創作展示会の開催を通じて他地区の会員との交流の場など、コロナ禍においても高齢者が社会活動に参加する機会を作った。 ・女性会員の割合 55.4% (2,454人/4,429人) ・女性会長の割合 3.5% (3人/86クラブ)	R4から市連合会副会長に女性を登用した。R5事業について、女性副会長並びに女性部の協力のもと、連合会及び地区の単位クラブの事業がスムーズに開催できるよう支援を行っていく。また、手芸教室は女性部の協力が必須な為、会場の確保をはじめ、継続した開催を支援して行く。
		55	シルバー人材センター事業への支援	高齢介護課	シルバー人材センター運営費補助金の交付	高齢者の就業と生きがいを支援する団体として活動するシルバー人材センターに対して、運営費の一部を補助した。シルバー人材センターの会員数が全国的に減少傾向にある中、会員拡大に向けては、前年度に引き続き、「広報あげお」への募集記事の掲載、女性のための入会説明会を月4回開催し、積極的に女性会員の入会の促進を図った。また、会員ご紹介カードの配布のほか、新たに、入会キャンペーンの実施、市内全域に新規会員募集のチラシの全戸配布を行った。会員数は、前年に比べ減少はしたものの女性会員の割合は、ほぼ横ばいとなった。女性会員の割合31.6% (414人/1,309人)	女性のための入会説明会など、積極的に女性会員の入会の促進を図っていることから、シルバー人材センターと連携して、事業の周知等、支援を行っていく。

施策	事業	概要No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる環境づくりの推進	高齢者が生きがいを持てる社会参加の促進	56	高齢者学級の開催	公民館	高齢者の生きがいづくりや生涯学習のきっかけづくりとなる講座の実施	<p>【上尾公民館】 「ふるさと学級」 参加者29人（延べ70人）①認知症の予防 ②災害・防災と男女共同参画 ③みんなで楽しく健康体操</p> <p>【上平公民館】 「いきいき教室」 参加者数23人（延べ42人）①就活講座 ②おなかの元気教室</p> <p>【平方公民館】 「たちばな学級」 参加者23人（延べ103人）①出張オンライン工場見学とおなか体操 ②ディスコンに挑戦！ ③「睡眠」と「健康」の知恵袋 ④映画鑑賞会～サクラサク～ ⑤アンデスの民族楽器による演奏会</p> <p>【原市公民館】 「原市シニア学級」 参加者22人（延べ80人）①振り込み詐欺被害防止講座 ②はらいちオータムコンサート ③ヤングケアラー講座～ケアラー支援のために～ ④公園の父～本多静六の生涯～ ⑤心と体のシニア体操</p> <p>【大石公民館】 「大石若返り学級」 参加者17人（延べ58人）①高齢者の健康づくり ②振り込み詐欺の未然防止、交通安全について ③映画鑑賞「おくりびと」 ④ポッチャ体験 ⑤大石の歴史</p> <p>「介護・転倒予防防トトレ体操教室」 参加者48人 「シニアのピアノで楽しく脳トレ」 参加者15人（延べ30人）</p> <p>【大谷公民館】 「大谷はつらつ学級～パークゴルフで心も体もはつらつに～」 参加者20人（延べ56人）</p>	引き続き高齢者向けの講座を実施する。
	高齢者が安心できる地域づくりの推進	市内施設への介護相談員の派遣	57	高齢介護課	市内高齢者施設への介護相談員の派遣	<p>新任介護相談員向け養成研修を実施。施設派遣を見据えていたが、コロナ禍により、様子見となったため派遣していない。</p> <p>・女性介護相談員の割合 72.2%（13人/18人）</p>	世間一般ではコロナ禍が緩和されてきてはいるが、なお高齢者施設においては、重症化リスクの高い利用者が多いため、国からもマスク着用を推奨するなど、慎重な対応を要されている。コロナ禍の状況により実施するか判断する。
		市内福祉施設関係職員等を対象とした研修の実施	58	高齢介護課	養護老人ホーム恵和園職員の研修	<p>恵和園の内部及び外部で実施される研修に参加した恵和園職員の延べ人数</p> <p>●合計453人（男性157人、女性296人） 女性職員の割合 65.3%</p>	引き続き、積極的な研修への参加を促していく。
		地域包括支援センターによる事業の実施	59	高齢介護課	地域包括支援センターによる総合相談事業	<p>地域包括ケアを支える中核機関である地域包括支援センターにおいて、総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的マネジメント支援、介護予防・日常生活支援などの事業を行っている。</p> <p>【みのりの倶楽部】 高齢者の認知症予防を目的とし、みのりの支援ボランティアが脳の活性化につながるレクリエーションやドリルの支援を実施。</p> <p>・みのりの支援ボランティアの女性の割合 89%（51人/57人）</p>	地域包括ケアを支える中核機関である地域包括支援センターにおいて、総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的マネジメント支援、介護予防・日常生活支援などの事業を実施予定。中でも、従来からみのりの支援ボランティアは女性の割合が多い状況である。
障がいのある人が生きがいを	民生委員による単身高齢者調査の実施	60	高齢介護課	高齢者への情報提供と相談の実施	<p>民生委員・児童委員は常に地域社会の実情を把握することに努め、高齢者のあらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に寄与している。</p> <p>毎年、65歳以上の単身高齢者を対象とした調査を民生委員に依頼している。約2か月かけて、高齢者と面接を行い、緊急時の連絡先や困りごとについて聞き取り調査を実施した。また、折に触れて見守りを行い、必要な情報提供を行った。</p> <p>※令和5年4月1日時点 ●民生委員・児童委員313人（男性79人、女性234人） 女性の民生委員の割合 74.8% ●対象高齢者15,685人（男性5,202人、女性10,483人） 女性の単身高齢者の割合 66.8%</p>	引き続き、女性の民生委員を推薦していく。	
	障がい者団体等への活動支援	61	障害福祉課	障害者団体への活動支援	<p>企業の協力と障害者施設における自主製品販売等により、障害者の社会参加促進に大きく貢献した。</p> <p>◆第22回元気あっぷフェスタ（R4.9.11）（イオンモール上尾） 主催：元気あっぷフェスタ実行委員会 協賛：イオンモール上尾 内容：障害者施設等の自主製品販売</p> <p>◆上尾市障がい者手づくり市（R4.4.16、R4.11.6）（上尾駅自由通路） 主催：上尾市障がい者手づくり市実行委員会 内容：障害者施設等の自主製品販売</p> <p>◆上尾市障がい者ニコニコマーケット（R4.10.22～10.23）（ショーサンブラザ） 主催：上尾市障がい者ニコニコマーケット実行委員会 協賛：上尾ショーサンブラザ 内容：障害者施設等の自主製品販売</p>	障害者団体への活動支援として、引き続き販売イベントを開催する。	

施策	事業	概要No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標	
障がいのある人が安心して暮らせる環境づくりの推進 障がいのある人が安心して暮らせる環境づくりの推進	障がいのある人が生きがいを持って社会参加の促進	62	障がい福祉サービス説明会や講座の開催	公民館	活動場所の提供及び講座の実施	【上平公民館】 「パラリンピックとアダプティックスポーツ～誰でも楽しめるスポーツ～」 参加者数17人	引き続き活動場所の提供を行う。また、公民館講座の実施について検討する。	
		62	障がい福祉サービス説明会や講座の開催	障害福祉課	市内障害福祉サービス（通所）説明会	新型コロナウイルスのため未実施	市内事業所案内リーフレット作成。	
		63	市内福祉施設関係職員を対象とした研修の実施	障害福祉課	地域研修会	上尾・桶川・伊奈の2市1町で共同運営する基幹相談支援センター権利擁護プロジェクトを中心に福祉施設関係職員を対象とした地域研修を2回実施した。	引き続き、障害者の社会参加促進にむけ、関係機関職員への啓発活動を実施していく。	
	障がいのある人が安心して暮らせる環境づくりの推進	障がいのある人が安心して暮らせる環境づくりの推進	64	関係団体への支援	障害福祉課	障害者団体の補助金交付	障害者の自立に向けた取り組みを行っているNPO法人上尾市身体障害者福祉会と上尾市聴覚障害者協会に対して、運営費の補助を行った。 ・補助額 387,000円	（特非）上尾市身体障害者福祉会上尾市聴覚障害者協会 補助額 387,000円
			65	ユニバーサル・デザインやバリアフリーによるまちづくりの推進	障害福祉課	障害者のシンボルマークを配布	「ハート・プラスマーク携帯用カード」「ヘルプマーク」を窓口で希望者に配布した。	「ハート・プラスマーク携帯用カード」「ヘルプマーク」を窓口で希望者に配布する。
	男女共同参画の視点に立つ国際理解と国際交流の推進 外国人市民への支援と国際交流活動	国際理解のための啓発の推進	66	男女共同参画に関する国際的な取り組みの情報収集と提供	市民協働推進課	あげおワールドフェア2022の開催	日本人・外国人のスタッフが共に協力し、企画・準備に当たった。企画段階から多くの女性スタッフが参加し、イベントを通じて男女共同参画への意識を高めた。 期 日 12月4日 場 所 上尾市文化センター 主 催 上尾市国際交流協会	実施を継続する。
67			外国人市民を含む市民の国際理解の促進	市民協働推進課	あげおワールドフェア2022の開催	21か国の参加者が物販や展示、ステージ発表などを行った。来場者アンケートの「世界のいろいろな国や地域について理解が深まりましたか？」では、5段階のうち「5」と「4」を回答した人が80%を占め、「2」以下の回答は0だった。	同アンケートでの「5」および「4」と回答した人の割合80%以上	
67			外国人市民を含む市民の国際理解の促進	公民館	多文化共生を知るきっかけとなる講座の実施	【上平公民館】 「神秘的国ベトナム～青年海外協力隊が見た伝統と経済発展の国のいま～」 参加者数16人 【平方公民館】 「アンデスの民族楽器による演奏会」 参加者54人 【原市公民館】 「英国式アフタヌーンティー講座～紅茶と共に優雅な時間を～」 参加者8人（延べ16人）	引き続き多文化共生を知るきっかけとなる講座を実施する。	
外国人市民への支援と国際交流活動		外国人市民への支援と国際交流活動	68	外国人市民への相談事業	市民協働推進課	外国人市民のための相談（ハローコーナー）の実施	毎月第1, 2, 3, 5月曜日と第4土曜日に英語、スペイン語、中国語、ポルトガル語を担当する女性相談員が、外国人市民に対して相談業務を実施した。なお、第4土曜日のみ聖学院大学の留学生の通訳を介して、ベトナム語での相談も実施している。相談業務を通して男女共同参画社会に向けた啓発を行った。 ハローコーナー対応相談件数 289件 内訳 ス페인語239件、英語17件、日本語14件、ポルトガル語10件、中国語9件	ベトナム語での相談をメールに切り替え、相談者にとって利用しやすい環境を検討する。
	69		「広報あげお」等による生活情報の提供	市民協働推進課	①Highlights（ハイライト）の「広報あげお」掲載 ②上尾市Webサイトの自動翻訳機能 ③Hello Corner News（ハローコーナーニュース）の発行	①毎月「広報あげお」に掲載している記事や外国人市民向けの情報を、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語で掲載した。 ②上尾市Webサイトに英語、中国語（簡体字、繁体字）、ハンガール語での自動翻訳機能を導入している。 ③毎月ハローコーナーニュースを発行し、生活・教育・医療・イベント等に関する情報を英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語で発信した。	実施を継続する。	

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
	の充実	70	国際交流活動関係団体との協働	市民協働推進課	上尾市国際交流協会の活動支援	<p>上尾市国際交流協会（Ageo Global Association 通称AGA「アガ」）の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数 個人会員132人、家族会員10家族、ジュニア会員1人、団体会員2、賛助会員1 ・全体事業 あげおワールドフェア2022の実施、あげおヒューマンライツミーティング22への参加 ・部会事業 ＜外国人支援部会＞ ボランティアによる日本語教室（火・水曜日）10月までオンライン、11月から対面で実施 日本語を母語としない子どもの学習支援 AGA子ども教室（土曜日） 日本語教室ボランティア研修会 多文化子育てお母さんの会、外国人のための生活勉強会 ＜国際理解推進部会＞ AGAサロン、ウインターパーティーの開催 ※サマーパーティーはコロナのため中止 	継続して支援を実施する。